



来年度の「まちごの教育」の準備をしています

校長 五十嵐 俊子

正門のオオシマザクラは、きれいに色づいた葉を落とし始めました。季節も冬に変わり、いよいよ春に花を咲かせるための準備が始まります。町五小でも、来年度からの「まちごの教育」の準備に入っています。変化の激しい時代に、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待されている子供たちが本当に幸せになるための教育はどうあるべきか、どんな力をつけていくかを全教員で話し合い、その教育の実現に向けて教員も勉強しています。

子供たちが大人になる頃は、身に付けてきた知識・技能を活用して、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を発揮しなければならない時代だと言われています。このような社会に生きる子供たちが幸せな人生を送れるようにするためには、「主体的な学び方が身に付いている」ことが一番大切だと考えます。それでは「主体的に学ぶためには、どうすればよいか」。それは、「大人が我慢して見守ること」ではないでしょうか。子供が何かに迷ったり悩んだりしている時に、こうしなさいとすぐ答えを教えるのではなく、ぐっと我慢して見守る。すると子供は自分で考え抜いて、何とか答えを見つけようとします。この体験こそが、自分で目標や解決したい課題を発見し、その達成や課題解決に向けて実践していく力になります。

これからは特に、自分で自分の目標達成に向けて調整していく力が求められると思います。町五小では、子供たちのために今できることとして、次の二つのことを重点に置いて教育活動を進めています。一つ目は、あれこれ指示を出すのではなく、子供たちが自分で考えて行動できるように見守ることです。「よく見て、聞いて、考えて行動する」が合言葉です。二つ目は、自分の考えを友達に伝えたり友達の考えを聞いたりしながら新しい考えを生み出すような対話の時間を多くとることです。現在、「対話で広げる学び」というテーマで校内研究を進めており、2月9日には研究発表会を開催します。



研究授業を通して、全教員で学び合っています。

また、町五小は、今後も地域社会と連携した教育活動を進めていきたいと考えています。町五小の学園地域はとても素敵な地域です。ふれあいサタデー等の行事や日々の教育活動を、昔から多くの地域の方が支えてくださっています。今年度は英語教育の第一人者である松香洋子先生のお力もいただいていますし、最近では、子供たちの安全の見守りのために「子ども110番」に協力したいという声も多くいただいているところです。



松香先生に、すべての学級の英語活動を参観していただき、アドバイスを受けています。

子供たちには、自分たちを支えてくださっている人がたくさんいることに感謝しながら、自分もまた他者を支える誰かになれるように、そしてそれを誇りにして、多様な人たちと協力し、自分をしっかりもって生きて欲しいと思っています。多様な他者と出会えるチャンスを増やせるように、来年度以降の教育のカリキュラムを創っていきたく考えています。保護者のみなさま、地域のみなさま、どうぞ、子供たちの未来と一緒に考えて、ぜひお力をください。

《来年度の「まちごの教育」で新しくなるところ》

- ・第5・6学年の外国語活動（英語活動）が教科「外国語科」となり、週2時間に増えます。（1コマは45分授業1回で、もう1コマは15分のモジュールタイムを3回行います。週に4回外国語を学ぶ時間を設けます。）
- ・第3・4学年に新しく外国語活動の時間（英語活動）を週1時間設けます。
- ・道徳が新しく教科になります。「特別の教科 道徳」として教科書を活用します。
- ・第3学年以上の総合的な学習の時間の内容を再編成します。SDGs（持続可能な開発目標）に基づいた教科横断的なカリキュラムを創造し、ユネスコ・スクールを目指します。子供たちが主体的に学んだ体験学習や問題解決活動の成果は、「学習発表会」として、毎年1月の学校公開で披露します。
- ・学校行事を精選します。学芸会、高学年の遠足、こどもまつり等がなくなります。作品展は隔年で行います。